

# 専門家による「緑の防潮堤」の現地調査

平成25年6月30日に、モデル的に整備した「緑の防潮堤」（岩沼市下野郷地内）において、一部の箇所では生育の不良が確認されたことから、植樹を指導していただいた横浜国立大学名誉教授 宮脇昭氏が現地を視察し、現在の生育状況を確認するとともに、地元報道機関に対して生育状況などの説明が行われました。

## ○宮脇昭名誉教授による現地調査

◆日時 平成26年6月30日（月） 14:00～15:00

◆場所 宮城県岩沼市下野郷（しものごう）地内（平成25年モデル植樹箇所）

◆指導内容 樹木の生育状況の確認と助言

◆宮脇名誉教授の発現要旨

・大部分は新芽も確認され、予測通りである。

しかし、一部で生育の遅れや、部分的に枯れている状態が確認された。

・今後3～5年程度は、様子を見ていくことが必要と考えている。

◆今後の対応

生育率が低い箇所への補植を行うとともに、追加の防風柵を設置。

## ○宮脇昭名誉教授による現地調査状況（報道機関への説明）



# 「緑の防潮堤」の補植作業

○補植（実施日：平成26年7月4日）

宮脇昭名誉教授との合同現地調査の結果を踏まえ、生育率が概ね50%～30%の不良箇所へ、タブノキを中心とした常緑広葉樹を1㎡当たり1～2本程度の植栽を実施しました。

◆補植樹種・数量

種類	種名	本数
常緑高木	タブノキ	225
	シラカシ	23
	アカガシ	23
	ウラジロガシ	23
	スダジイ	23
落葉高木	ヤマザクラ	45
常緑低木	マサキ	45
	シャリンバイ	23
	ネズミモチ	23
合計(14種)		453

◆実施日時：平成26年7月4日

◆実施団体等：仙台河川国道事務所  
いのちを守る森の防潮堤推進  
東北協議会事務局



※補植用の苗木は東北協議会から提供いただきました。

◇補植前



◇防風柵追加前



◇補植後



◇防風柵追加後

